

近場で楽しむ



表紙シリーズ「マイクロツーリズム」では、那須レジャー施設協会の協力のもと町内で楽しめる観光施設を紹介します

vol.2 お菓子の城 那須ハートランド

ピカピカいちごがおいしい春

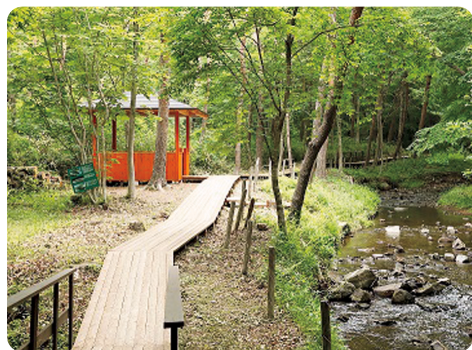


クッキーやタルト、ケーキ作りを体験できる「リトルパティシエ教室」

花の周りをかわいらしく飛び回るいちご。小ぶりの白いちごの花

とちおとめのハウスは、高設栽培しているので、立ったまま摘み取ることができ、車いすを利用する方もそのまま入っていちご狩りができます。

春といえばいちご狩り。お菓子の城那須ハートランドの「那須高原農園 いちごの森」は、平成13年に観光農園として、お菓子の城の敷地内にオープンしました。当初は「とちおとめ」の連棟ハウス14棟のみでしたが、その後プレミアムいちごの「スカイベリ」のハウスが5棟増え、今年からは、甘さが特徴の新品種「とちあいか」が4棟始まり、全部で23棟となりました。植え付け面積は、二町歩(3,000坪、9,900㎡)の広さです。



2kmの散策道がある「那須花と体験の森」

・利用人数を時間ごとに制限し、密にならないよう調整。など
※各施設でも、入口に手指消毒液を設置するなどの感染症対策を行っています。

ミツバチ。そしていちごの甘い香り。ハウスの中には、春の色々な楽しみがありました。また、同敷地内にある「那須花と体験の森」には、子どもがお菓子作りに挑戦できる教室や、森林浴ができる散策道、色とりどりの花が咲くガーデンなどがあります。春を見つけない外に出てみましょう。

新型コロナウイルス感染防止対策

- ・いちごを素手で触らず、また個人で食べられるよう、1人ずつにハサミ、パック、使い捨てビニール手袋を配布。
- ・1時間に2回、ハウス入り口を開放して換気。

麺

那須のおいしいめん

No.02

滝のある釣り堀 那須高原 清流の里 「寒ざらしそば」



「寒ざらしそば」のおすすめメニューは、鹿沼産の栃木しゃもを使った「栃木しゃもつけそば」

「滝のある釣り堀 那須高原 清流の里」では、こだわりの「寒ざらしそば」を提供しています。「そばは香りと甘みが命」という代表の高根沢昇さんは、毎年小寒から作業を始めるといいます。今年も1月5日から10日ほど設営のそばの実を川に浸しました。その後、専用のハウス内に敷いたブルーシートにそばの実を広げ、日中2時間おきにかき混ぜ、20日かけて完全に乾燥させました。高根沢さんによると、「冷たい水にさらして乾燥させることで、余分なアクが抜けて甘みが増す」といいます。



代表の高根沢 昇さん

店で使うのは「信濃一号」というそば。「うまいことはみんな知っているが、実が小さく収穫量が少ないため、県内で生産する人はほとんどいないのでは」と高根沢さん。この「信濃一号」を、店では宇都宮大農学部附属農場から仕入れていきます。関係者が来店したのがきっかけだといいます。「信濃一号で作る寒ざらしそばは県内でうちだけ。今年は甘みがよく出た」と胸を張る高根沢さん。寒ざらしそばの提供は3月末まで。

滝のある釣り堀 那須高原 清流の里

住所 高久乙2714-2
☎0287-78-0337
営業時間 お食事11:00~16:00
定休日 木曜日

